



【指数日足チャート】

▼ハンセン指数



▼上海総合指数



【主要株価指数】

	週末終値	前日比	変化率 (%)	週間騰落率 (%)	年初来騰落率 (%)	20年末株価
NYダウ	35,950.56	196.67	0.55	1.65	17.46	30,606.48
NASDAQ	15,653.37	131.48	0.85	3.19	21.45	12,888.28
日経225	28,782.59	-15.78	-0.05	0.83	4.88	27,444.17
上海総合	3,618.05	-25.29	-0.69	-0.39	4.17	3,473.07
滬深300 (CSI300)	4,921.34	-27.39	-0.55	-0.67	-5.56	5,211.29
ハンセン	23,223.76	30.12	0.13	0.13	-14.72	27,231.13
中国企業	8,201.95	-2.36	-0.03	-0.20	-23.62	10,738.40

【株式概況】

先週の動き:ハンセン指数は0.1%高と小幅に反発、上海総合指数は0.4%安

香港市場ではハンセン指数が週間で0.1%高と小幅に反発した。週初の20日は中国人民銀行が最優遇貸出金利を1年8カ月ぶりに引き下げ。実質的な利下げ発表となったが、逆に景気の先行きに対する警戒感が高まり、ハンセン指数は2%近い下げとなった。ただ、その後はNY市場の上昇などを受けて持ち直す展開。週末24日まで4連騰となり、週初の下落分を取り戻した。本土市場では上海総合指数が0.4%安と続落。週初に大きく下落したが、その後は中国政府による景気対策への期待などから持ち直す展開となった。

今週の展望:香港市場は方向感に乏しい展開か、3日半の取引で薄商いの公算

香港市場は方向感に乏しい展開が見込まれる。27日がクリスマスの振り替え、31日がだみそかで半日立ち会いとなるため、3日半の取引となる。薄商いが予想されるなか、中国の景気減速や米中関係悪化への警戒感にくすぶりそうだが、中国政府による政策期待は相場の下支え要因。新型コロナを巡ってはオミクロン株の感染が拡大しているが、新型コロナの飲み薬が承認されるなど明るい話題も出ており、大きな動きは出にくい。本土市場も景気減速懸念と政策期待の綱引きで方向感に乏しい展開が予想される。

先週のハンセン騰落ランキング

▼騰落率上位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 サズ・チャイ(01928)	18.14	9.54
2 テンセント(00700)	460.20	5.07
3 銀河娛樂(00027)	41.05	4.99
4 舜宇光学科技(02382)	252.60	3.69
5 CNOOC(00883)	8.10	2.79
6 恒安国際集団(01044)	41.40	2.60
7 長江インフラ(01038)	48.40	2.43
8 小米集団(01810)	18.64	2.31
9 チャイ・モバイル(00941)	47.50	2.26
10 中国工商銀行(01398)	4.38	2.10

▼騰落率下位	週末終値 (HK\$)	騰落率 (%)
1 JDドットコム(09618)	261.20	-6.78
2 阿里健康(00241)	6.55	-6.43
3 碧桂園服務(06098)	47.40	-5.95
4 信義光能(00968)	13.10	-4.52
5 アリババ集団(09988)	113.00	-3.42
6 李寧(02331)	81.55	-2.92
7 龍湖集団(00960)	37.00	-2.50
8 業明生物技術(02269)	87.15	-2.24
9 吉利汽車(00175)	21.95	-2.01
10 ネットイース(09999)	150.70	-1.82

▼今週の主なイベント

- 12月27日(月)
- 【香港】クリスマスの振り替えて休場
- 【中国】工業企業利益(11月)
- 12月31日(金)
- 【香港】だみそかで半日立ち会い
- 【中国】製造業PMI(12月)

▼今週の期待材料

- ◆米食品医薬品局がファイザーとメルクの新型コロナ飲み薬を緊急承認、感染拡大懸念が後退する可能性も
- ◆中国と香港の証券取引所が株式相互取引制度の対象拡大で合意、半年後をめどにETFも対象に加える方針
- ◆中国人民銀行が1年8カ月ぶりに0.05%の利下げ、実質的政策金利に当たる1年物最優遇貸出金利を引き下げ

▼今週の懸念材料

- ◆バイデン米大統領がウイグル強制労働防止法に署名、新疆ウイグル自治区からの輸入を原則禁止へ
- ◆新型コロナの感染拡大を受けて陝西省西安で都市封鎖、12月9-25日の累計感染者数が485人に
- ◆浙江省の消費者保護委員会がライブストリーミング企業5社を呼び出し、ネット企業の不正行為を指摘

【今週の材料銘柄】 ☆…ポジティブ ★…ネガティブ ◇…中立

- ☆ 香港証券取引所(00388):本土との株式相互取引、投資対象をETFにも拡大で合意
- ☆ 世茂服務(00873):自社株買いの検討を発表、向こう6カ月は新株発行をしない方針
- ☆ 長江実業集団(01113):航空機リース事業から撤退、1.7億米ドルの売却益計上へ
- ☆ 小米集団(01810):28日に新製品発表会、スマホ新機種「小米12」シリーズを発表
- ☆ 広州汽車集団(02238):21年の販売台数は3%増の見通し、22年目標は15%増
- ◇ 中国信達資産管理(01359):アリババ集団傘下の重慶バ蟻消費金融の権益24%を取得
- ★ BYD(01211):新型コロナ感染拡大受け西安で都市封鎖、西安工場での生産に影響
- ★ 新疆金風科技(02208):米国でウイグル強制労働防止法が成立、今後の業績に影響も
- ★ 中国恒大集団(03333):給料未払いを受けて各地の支社でストライキが発生
- ★ 美团(03690):テンセントの出資企業に売り圧力、テンセントがJD株を現物配当

レポートは、株式会社DZHフィナンシャルリサーチ（以下、「DZH」と称します）により作成されたものです。

本レポートは、DZHが信頼できると判断した各種データ、公開情報に基づいて作成しておりますが、DZHはその正確性、完全性を保証するものではありません。

ここに示したすべての内容は、DZHで入手しえた資料に基づく現時点での判断を示しているに過ぎません。

DZHは、本レポート中の情報を合理的な範囲で更新するようにはしておりますが、法令上の理由などにより、これができない場合があります。

本レポートは、お客様への情報提供のみを目的としたものであり、特定の金融商品の売買あるいは特定の金融商品取引の勧誘を目的としたものではありません。

また、本レポートによる情報提供は、投資等に関するアドバイスを含んでおりません。

本レポートにおいて言及されている投資やサービスは、個々のお客様の特定の投資目的、財務状況、もしくは要望を考慮したものではありませんので、個々のお客様に適切なものであるとは限りません。

本レポートで直接あるいは間接に取り上げられている金融商品は、株価の変動や、発行者の経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化、金利・為替の変動などにより投資元本を割り込むリスクがありますが、DZHは一切その責任を負いません。

DZHは、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。

DZHおよびグループ会社は、本レポートの論旨と一致しないレポートを発行している場合があります。また今後そのようなレポートを発行する場合があります。

DZH、グループ会社およびその役職員は、本レポートに記載された金融商品について、ポジションを保有している場合があります。

本レポートでインターネットのアドレス等を記載している場合がありますが、DZH自身のアドレスが記載されている場合を除き、ウェブサイト等の内容についてDZHは一切責任を負いません。

本レポートの利用に際しては、お客様ご自身でリスク等についてご判断くださいますようお願い申し上げます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。